

阪神・淡路大震災25年、自分の身を守るには…

兵庫・洲本市立広石小で理科実験教室

ベルマーク財団の「理科実験教室」が1月20日、兵庫県の淡路島西部にある洲本市立広石小学校（作靖幸=つくり・やすゆき=校長）で開かれました。財団のへき地校支援事業のひとつで、講師はおなじみDr.ナダレンジャーこと国立研究開発法人・防災科学技術研究所の納口恭明(のうぐち・やすあき)さんと助手のナダレンコ、罇優子(もたい・ゆうこ)さんです。



午前10時半、全校児童と教師らが体育館に集まる中、金髪のカツラと紙の3Dメガネ、地下足袋の怪しげなスタイルの納口さんと、ピンク色のアフロヘアの罇さんが登場しました。まずは「突風マシン」を使い、子どもたちに向けて突風を発射していきます。

「おもしろいでしょう。でも、このマシンが体育館ぐらいの大きさだったらどうでしょう」「自然災害は、本当はこわいもの。でも、小さくしたらこわくない。おもちゃみたいに感じるんです」

雪崩を疑似体験できる「ナダレンジャー0号」、地盤の

液状化現象をペットボトルで再現する「エッキー」、地震での揺れを知るための「ゆらゆら3兄弟」と、様々な装置を使って実験は続きます。最後に発砲スチロール製のブロックを車輪付き板に高く積み上げ、どれぐらいの揺れで倒れるか観察します。誕生日が1月の子ども6人がブロックの両側に頭を抱えてうずくまり、納口さんが台を少しずつ動かしていくと、ブロックが崩れ落ちました。「ワー！！」。悲鳴に似た声が上がりました。

児童会長の濱田小雪(はまだ・こゆき)さん(6年)は「いろいろな実験で楽しい勉強ができました。これから災害のことを考えていきたいと思います」と感謝を述べました。教頭の小林恭子(こばやし・きょうこ)先生は「阪神・淡路大震災から25年。自然災害は本当にこわいです。自分の命は自分で守る。きょうの実験でたくさん学んだことを、これからの生活に生かしてください」と話しました。

1995年の阪神・淡路大震災で洲本市は震度6を観測し、全壊の住家は合併前の五色町と合わせて200棟余に上りました。広石小ではその翌年から毎年1月17日に避難訓練などを続けています。今回の理科実験教室はその一環として開かれました。



④「突風マシン」で風に当たると子どもたちは大はしゃぎ
⑤ボトルを指ではじくと丸ピンが砂の中から浮き上がった

「セミの声に励まされ、感謝」

ファミリーマートありがとうの手紙コンテスト2019

小学生を対象にした「ファミリーマートありがとうの手紙コンテスト2019」の受賞者が決まりました。前回は上回る4万130通の応募があり、審査員長のジャーナリスト池上彰さんら5人の審査員による最終審査で、計21人が最優秀作品賞、35人が審査員特別賞、7校が学校・団体賞に選ばれました。

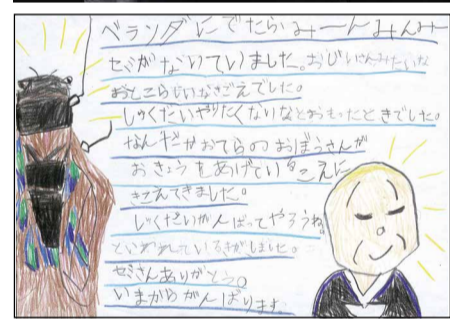
そのうち、関東1ブロック(東京都・神奈川県)低学年の部で最優秀作品賞に輝いたのは、海老名市立東柏ケ谷小学校1年の佐々木悠真さん。宿題をやりたくないと思った時に、ベランダから聞こえたミンミンゼミの「おじいさんみたいなおとこらしい」鳴き声。それをお坊さんのお経の声に例え、励ましの言葉に聞こえたとして、セミへの感謝と自らの意欲を手紙につづりました。

佐々木悠真さんへの表彰は1月28日にあり、主催する

協賛会社のファミリーマート(ベルマーク番号23)の伊藤聡神奈川ディストリクト部長が「読んでいる私も、仕事を頑張らなきゃいけないと思いました」とお祝いの言葉を述べ、表彰状などを手渡しました。

続いて、手紙への「お返事」が披露されました。なんとセミからのもの。「どうやら、ゆうまくんに、このおもしろいことがわったみたいだね」。母の明日香さんが作り、父の卓さんが代読しました。小学校の担任、齋藤美千代先生からもお返事が。「生きているものみんなが悠真さんの応援団です。また色々なことにチャレンジして下さい」。祖母の曾根里美さんが読み上げました。

実は、悠真さんの兄の秀虎さん(海老名市立柏ケ谷中学校1年)も、小2のときにこのコンテストで受賞したことがあり、これでうれしい兄弟受賞となりました。



⑥佐々木悠真さんと一緒に、後列左から祖母の曾根里美さん、父の卓さん、兄の秀虎さん、母の明日香さん
⑦悠真さんの作品

大分・別府市立東山小中から感謝メッセージ

大分県別府市の市立東山小中学校(赤峰三代子校長、児童31人・生徒16人)から、ベルマーク財団のへき地校支援への感謝メッセージと写真が届きました。

阿蘇・くじゅう国立公園内にある同校は、市の小規模特認校に指定されていて、ほとんどの子どもたちは校区外から、保護者の車やスクールバス、路線バスで通っています。

今回の支援では、一輪車、折りたたみ式発表ボード、高圧洗浄機、ソフトドッジなどを買いました。一輪車は今まで古

いものを修理して使っていましたが、3種類のタイヤサイズ各1台ずつを更新しました。写真は昨年9月、幼小中・地域の合同運動会で小学生全員が行った一輪車演技の様子です。練習した技を立派に披露することができたそうです。



エンカレッジ・テクノロジー(株)の社員がマーク寄贈&見学

エンカレッジ・テクノロジー株式会社(本社・東京都中央区)の社員4名が、1月22日に財団事務所を見学しました。内部監査室長の田村潤さん、経営管理部の花岡伸子さん、事業推進部の前橋実可子さん、研究開発部の岸本彩さんです。



同社は2002年創立。セキュリティソフトウェアの開発・販売をしており、昨年3月に東証一部へ上場しました。そのタイミングで、社会貢献活動に関心を持ち始めたそうです。「社を挙げてベルマーク収集に取り組むことを社員に周知したい」とのことで、見学の様子は同社ホームページにも掲載されています。

昨年12月からベルマーク収集を始めた同社。その最初の回収分を財団に寄贈してくれました。インクカートリッジ850点分、トナーカートリッジ100点分、そして711.5点のベルマーク。ありがとうございました。

大台達成校

1月	達成校	枚数
永明小	長野県茅野市	10,001,964
中野第一小	東京都中野区	8,023,643
古高松小	高松市	7,005,989
東小	愛知県津島市	6,011,978
勝山小	山口県下関市	6,017,331
三城小	長崎県大村市	6,032,005
小池小	東京都大田区	5,012,589
墨俣小	岐阜県大垣市	5,021,171
吹上小	和歌山市	5,011,142
金子小	愛媛県新居浜市	5,001,332
松岩小	宮城県気仙沼市	4,095,925
峯小	横浜市保土ヶ谷区	4,013,210
今宿小	神奈川県茅ヶ崎市	4,010,401
王寺小	奈良県王寺町	4,013,266
大野小	長崎県佐世保市	4,009,869
与野八幡小	さいたま市中央区	3,006,307
上鶴間小	相模原市南区	3,011,428
高田小	千葉県柏市	2,012,410
大綱中	横浜市港北区	2,004,521
上牧小	大阪府高槻市	2,003,961
館小	仙台市泉区	1,007,040
三ツ境養護学校		
	横浜市瀬谷区	1,004,761
大庭小	松江市	1,002,774
伴南小	広島市安佐南区	1,010,551
福木中	広島市東区	1,026,851
出水中	熊本市中央区	1,074,235

